

令和3年度の経営協議会における学外委員からの主な意見とその対応状況

令和3年11月12日現在

学外委員からの主な意見	対応状況
<p>オンラインのオープンキャンパスについて 道外からの参加者もいるため、地域によって疑問は異なると思う。それらの疑問を集めて分析し、オープンキャンパスで映像に取り込む工夫をしてはどうか。</p>	<p>令和3年度のWebオープンキャンパスでは、道外出身学生の授業風景や生活風景、北海道での生活で異なる点などをまとめた一日の映像を制作し、掲載する。</p>
<p>三大学経営統合にあたり、教員同士だけが交流するだけではなく、学生たちの声も聴くことが大切であり、一番重要であると思う。また、それが北海道の力になっていくことを期待している。固定観念にとらわれるのではなく、それぞれの大学の良い点・悪い点をうまく合わせて進めていくことが、学生にとっても良いことである。</p>	<p>三大学の学生交流の場を設けるとともに、各種アンケート等を通じて学生の声を広く集め、IR室を中心に分析し、教育プログラム等の改善につなげていく。 また、教育研究連携評議会における法人全体の教育研究の方向性、三大学連携の教育研究事業等に関する協議を積み重ねること等により、それぞれの大学の特色をうまく活用して法人統合のシナジー効果を生み出していきたいと考えている。</p>
<p>産学連携センターや新たに設置した企業等集積プラットフォームなどで資金や寄付金の獲得を目指す方針には賛成する一方で、目先の利益のみ追求するような研究に走ることなく、人材育成と将来の学術研究の基礎となるような研究を地道に積み重ねていただきたい。</p>	<p>本学は、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を看板として掲げ、実学を基調として、食の安全・安心を担保するため、感染症対策、家畜の生理機構の解明といった基礎研究や家畜の生理機構の解明に基づく生産性の向上といった応用研究のように生命や生活を保障するための多くの課題を見出し、解決するための多様な教育・研究を展開している。今後も掲げたミッションに沿うように、獣医・農畜産業社会において、日本はもちろん海外でも多方面で活躍が可能な人材を育成していく。</p>
<p>財務レポートについて、三大学経営統合後には、それぞれの大学の個性を活かしながら、また、各大学が今後どうしていくか等、さらに工夫して分かりやすいものにしていただきたい。</p>	<p>ご意見いただいたとおり、経営統合後の財務レポートについては、大学の個性を活かし、より分かりやすい内容となるようにする。</p>
<p>内容的には財務レポートというよりも統合レポートのような内容になっているので、「財務レポート」ではなく、社会に分かりやすいような名前を検討されてはどうか。また、今後、内容を充実させるために、昨今のSDGsのテーマも含めるなど、帯広畜産大学として活動内容を発信できるようなものを期待する。</p>	<p>ご意見いただいたとおり、名前についてはより分かりやすいものとなるように変更する。また、SDGsのテーマも含めるなどの内容の充実についても、学内で検討の上、帯広畜産大学の活動内容をより発信できるような内容にしていきたい。</p>
<p>運営費交付金の削減により、国立大学法人の学長は研究費の配分等に苦勞されていることと思うが、研究者が研究費の獲得に気を使わなくて済むよう、文部科学省に訴えていただきたい。</p>	<p>運営費交付金の削減を契機に、本学としても外部資金獲得等を支援するための研究活性化支援経費拡充など、更なる研究費獲得に向けて予算編成方針の変更などを行ってきた。ご意見をいただいた研究者の今後の研究費充実については、前述の学内での取組の推進と並行し、文部科学省に対して大学として訴えていくようにする。</p>